

広島市民病院群

外科専門研修プログラム



広島市民病院群外科研修プログラム



専門研修プログラム統括責任者
広島市立広島市民病院
外科主任部長 吉田龍一

広島市民病院群外科専門研修プログラムは、広島市立広島市民病院を基幹施設としたプログラムです。広島市立広島市民病院は政令指定都市広島市のほぼ中央に位置し、病院の前には広島バスセンターや都市交通システムの最寄駅がある非常に交通の便の良い所に立地しており、広島都市圏の中核病院としての機能を果たしています。

外科には消化器外科(食道、胃、大腸、肝胆膵の4つの臓器別診療グループがあります)、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、乳腺外科の各科があり、それぞれが学会の専門医研修施設に認定され全国でも有数の手術数を有しています。各科間のスムーズな連携と臨床力のある指導医による屋根瓦式の指導体制のもとで専攻医の習熟度に応じた多数の手術を経験できることが当院の魅力と考えています。連携施設は、広島市立舟入病院、庄原赤十字病院、川崎医科大学病院と特色の異なる病院があり、6カ月以上の研修を行う予定です。今まで培ってきた専門医教育をもとに総合力の高い外科専門医の育成に努めています。意欲のある専攻医のみなさんの応募を指導医他職員一同楽しみにお待ちしております。



広島市立広島市民病院外科専門医研修の特徴

広島市民病院群外科専門医研修プログラムの一番の特徴は、外科医としての適正な心構えと十分な準備を前提(図1)として、早くから低難度手術から術者の機会を積極的に与えます(図2・図3)。中でも、専攻医は救急疾患外科症例に当番制で対応し、その手術症例は原則的に当番専攻医の執刀としています。定期手術だけでなく、救急症例で執刀経験を積むことも専門医研修に必須の120例の術者経験の達成に寄与しています。実際、2022年の広島市民病院外科(消化器一般外科)の全手術症例の1111例中、298例(27%)が緊急手術で、その大多数が指導医の下に行った外科専攻医の執刀症例でした。



広島市立広島市民病院外科専門医研修の特徴

広島市民病院群外科専門医研修プログラムの3年間の修練期間に外科専門医申請に必須な症例数を経験できることを必要最低限の到達目標とし、専門医研修3年目終了後に日本外科学会外科専門医試験を受験します。

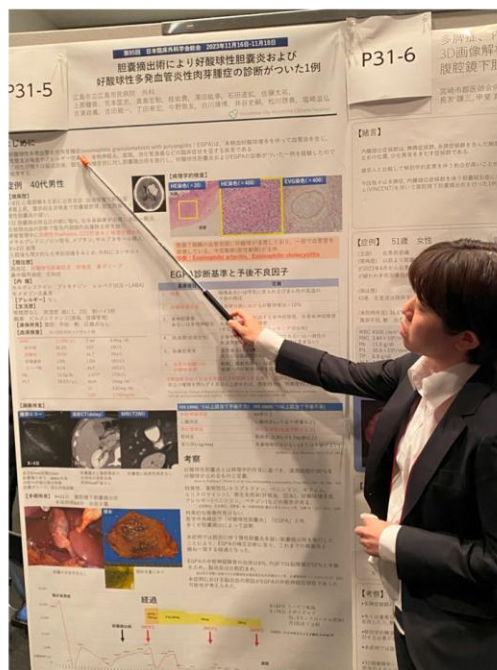
基幹施設である広島市立広島市民病院での専門医研修では、消化器一般外科は臓器別に食道・胃・大腸・肝胆膵の4領域、それに呼吸器外科・乳腺外科・心臓血管外科・小児外科、加えて救急科(ER)をそれぞれ主に(1～)3か月単位でローテーションします。連携施設での研修を含めて、2年目終了までに外科専門医研修に必須な350例の手術手技経験症例数、領域別の手術経験最低数は充足されます。残りの研修期間では外科専門医研修期間から志望・目標とするサブスペシャリティー専門領域(消化器、呼吸器、心臓血管、乳腺)あるいは希望臓器に対するローテーションの選択も可能です。

研修医は他科を交えた各臓器別カンファレンスでの詳細な症例検討に加えて、手術全症例について外科全体での術前カンファレンスで症例提示を行います。また術後カンファレンスでは1症例ごとに術前画像診断・術中所見や切除標本所見など症例の要点を1枚のスライドに要約して手術報告することで、外科疾患・診療・手術への理解とプレゼンテーション・ディスカッション能力の向上につなげています。

また広島市民病院は他科領域に基礎疾患・併存症を有する手術症例も多く、併存症・合併症を有する症例の周術期管理を行うことで、その対応能力も培われます。術後合併症症例・問題症例はM&Mカンファレンス(mortality & morbidity conference)と称した他職種を交えたカンファレンスで検討し問題を共有することで、術後合併症に際する対処方法に関して各々のcase studyともなっています。

一方、専門医には学術業績も求められており、学会発表を積極的に経験させ、論文発表も推奨しています。学術活動への意識・意欲の向上を目指して、その学術的な業績を点数化し客観的評価しています。手術経験のみならず、カンファレンスを通じた1症例に対する熟慮、合併症症例に対する周術期管理、救急疾患への対応、学術活動などを通じて、広島市民病院群外科専門医研修が、確固とした基盤の上に立つ総合的能力の高い外科専門医の育成に繋がることを目指しています。

図4 専攻医による全国学会発表



広島市民病院群外科専門研修プログラム

1. 広島市民病院群外科専門研修プログラムについて

広島市民病院群外科専門研修プログラムの目的と使命は以下の点です。

- 1) 専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- 2) 専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
- 3) 上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
- 4) 外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること
- 5) 外科領域全般からサブスペシャリティ領域(消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科)またはそれに準じた外科関連領域(乳腺や内分泌領域)の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

2. 研修プログラムの施設群

広島市立広島市民病院と連携施設(4施設)により専門研修施設群を構成します。本専門研修施設群では20名の専門研修指導医が専攻医を指導します。

専門研修基幹施設

名称	都道府県	1: 消化器外科 2: 心臓血管外科 3: 呼吸器外科 4: 小児外科 5: 乳腺内分泌外科 6: その他(救急含む)	1. 統括責任者名 2. 統括副責任者名
広島市立広島市民病院	広島県	1. 2. 3. 4. 5. 6.	1. 吉田龍一 2. 桂佑貴

専門研修連携施設

No.				連携施設担当者名
1	総合病院庄原赤十字病院	広島県	1. 3. 5. 6	高嶋寛年
2	広島市立舟入市民病院	広島県	1. 4. 6	金廣哲也
3	川崎医科大学附属病院	岡山県	1. 2. 3. 4. 5. 6	田淵 篤
4	寺田病院	三重県	1. 5. 6	板野 聡

3. 専攻医の受け入れ数について(外科専門研修プログラム整備基準5.5 照)

本専門研修施設群の3年間 NCD登録数は約7400例 で、専門研修指導医は20名のため、3年間で15名の専攻医を受け入れることができます。募集専攻医数は3名です。

3年間の専門研修期間中 基幹施設または連携施設で最低6カ月以上の研修を行います。

4. 外科専門研修について

1) 外科専門医は初期臨床研修修了後、3年の専門研修で育成されます

- 専門研修の3年間の1年目、2年目、3年目には、それぞれ医師に求められる基本的診療能力・態度(コアコンピテンシー)と外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる知識・技術の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価して、基本から応用へ、さらに専門医としての実力をつけていくように配慮します。具体的な評価方法は後の項目で示します。
- サブスペシャリティ領域によっては外科専門研修を修了し、外科専門医資格を習得した年の年度初めに遡ってサブスペシャリティ領域専門研修の開始と認める場合があります。
- 研修プログラムの修了判定には規定の経験症例数が必要です(専攻医研修マニュアル経験目標2を参照)
- 初期臨床研修期間中に外科専門研修基幹施設ないし連携施設で経験した症例(NCDに登録されていることが必須)は、研修プログラム統括責任者が承認した症例に限定して、手術症例数に加算することができます。(外科専門研修プログラム整備基準2.3.3 参照)

2) 年次毎の専門研修計画

- 専攻医の研修は、毎年の達成目標と達成度を評価しながら進められます。以下に年次毎の研修内容・習得目標の目安を示します。なお、習得すべき専門知識や技能は専攻医研修マニュアルを参照してください。
- 専門研修1年目では、基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は定期的開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主催のセミナーの参加、elearningや書籍や論文などの通読、日本外科学会が用意しているビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。
- 専門研修2年目では、基本的診療能力の向上に加えて、外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医はさらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。
- 専門研修3年目では、チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画しリーダーシップを発揮して、外科の実践的知識・技能の習得により様々な外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。カリキュラムを習得したと認められる専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医取得に向けた技能研修へ進みます。

(具体例) 下図に広島市民病院群外科研修プログラムの1例を示します。

専門研修1年目は基幹施設、専門研修2～3年目の内6～12か月は連携施設での研修です。連携施設の内、総合病院庄原赤十字病院は基幹施設と異なる2次医療圏、川崎医科大学附属病院は異なる3次医療圏、他は同じ2次医療圏に存在します。



(サブスペシャリティ領域などの専門医連動コース)

広島市立広島市民病院でサブスペシャリティ領域(消化器外科, 心臓・血管外科, 呼吸器外科, 小児外科)または外科関連領域(乳腺など)の専門研修を開始します。

外科専門医研修ローテーション例



志望のサブスペシャリティに合わせて各臓器別診療科の研修期間の調整可能

広島市民病院群外科研修プログラムでの3年間の施設群ローテーションにおける研修内容と予想される経験症例数を下記に示します。どのコースであっても内容と経験症例数に偏り、不公平がないように十分配慮します。

広島市民病院群外科研修プログラムの研修期間は3年間としていますが、習得が不十分な場合は習得できるまで期間を延長することになります(未修了)。一方で、カリキュラムの技能を習得したと認められた専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医取得に向けた技能教育を開始します。

・専門研修1年目

広島市立広島市民病院に所属し研修を行います。

一般外科/消化器/心・血管/呼吸器/小児/乳腺・内分泌/救急/麻酔/病理

経験症例200例以上(術者40例以上)

・専門研修2年目

広島市立広島市民病院に所属し研修を行います。その内(2～3年目の間に)6～12か月間連携施設のうちいずれかに所属し研修を行います。

また広島市立広島市民病院に所属中の2～3年目に2か月間救急部に所属し、救急ER外来を担当し救急医療を研修します。

一般外科/消化器/心・血管/呼吸器/小児/乳腺・内分泌/麻酔/救急/病理

経験症例400例以上/2年(術者90例以上/2年)

・専門研修3年目

広島市立広島市民病院に所属し研修を行います。その内(2～3年目の間に)6～12か月間連携施設のうちいずれかに所属し研修を行います。

不足症例に関して各領域をローテートします。またカリキュラムの技能習度や経験症例数の到達度によって希望に応じてサブスペシャリティ領域のローテーションも可能です。

一般外科/消化器/心・血管/呼吸器/小児/乳腺・内分泌/麻酔/救急/病理

経験症例600例以上/3年(術者140例以上/3年)

3)研修の週間計画および年間計画基幹施設(広島市立広島市民病院例)

研修の週間計画(外科:消化器外科・一般外科)

		月	火	水	木	金	土	日
07:30-08:30	外科合同学術カンファレンス							
	消化器外科術前カンファレンス							
	臓器別合同カンファレンス(大腸)							
	臓器別合同カンファレンス(食道)							
	外科合同術後カンファレンス							
08:30-12:00	手術							
	病棟業務・検査/処置							
13:00-17:00	手術							
	病棟業務・検査/処置							
17:00-18:00	M&Mカンファレンス							
	Resident journal club/ 外科研修委員会							
18:30-19:30	臓器別合同カンファレンス(胃)							
	臓器別合同カンファレンス(肝胆膵)							
17:00-24:00	ER勤務(準夜勤)			当	直	表		
00:00-08:30	ER勤務(深夜勤)			当	直	表		

外科合同カンファレンス:外科・呼吸器外科・乳腺外科・(兼)ミーティング・連絡会
 学術カンファレンス:抄読会・学会予行・レクチャー・勉強会
 臓器別合同カンファレンス:多科合同(外科・内科・放射線科・病理診断科)
 M%Mカンファレンス:morbidity(合併症)& mortality(死亡症例)・多職種

研修の週間計画(呼吸器外科)

		月	火	水	木	金	土	日
07:30-08:30	外科合同学術カンファレンス	■						
	呼吸器術前カンファレンス			■				
	呼吸器抄読会				■			
	外科合同術後カンファレンス					■		
08:30-12:00	手術		■		■	■		
	病棟業務	■	■	■	■	■		
13:00-17:00	手術	■	■		■	■		
	病棟業務	■	■	■	■	■		
17:00-24:00	ER勤務	当 直 表						
00:00-08:30	ER勤務	当 直 表						

呼吸器術前カンファレンス:呼吸器外科・呼吸器内科・放射線治療科
呼吸器抄読会:呼吸器外科・呼吸器内科

研修の週間計画(乳腺外科)

		月	火	水	木	金	土	日
07:30-08:30	外科合同学術カンファレンス	■						
	乳腺外科術後カンファレンス		■					
	乳腺外科病理カンファレンス(1/月)		■					
	乳腺外科術前カンファレンス				■			
	外科合同術後カンファレンス					■		
08:30-12:00	手術	■	■	■		■		
	病棟業務	■	■	■	■	■		
	外来業務	■		■				
13:00-17:00	手術	■	■	■		■		
	病棟業務	■	■	■	■	■		
	外来業務			■				
17:00-18:00	マンモトームカンファレンス			■				
17:00-24:00	ER勤務	当 直 表						
00:00-08:30	ER勤務	当 直 表						

乳腺外科病理カンファレンス:乳腺外科・放射線科・病理診断科
マンモトームカンファ:乳腺外科・放射線科

研修の週間計画(心臓血管外科)

		月	火	水	木	金	土	日
07:30-08:00	ICUカンファレンス							
08:00-09:00	術前カンファレンス							
	検査・入院カンファレンス							
	心外・循内合同カンファレンス							
	医薬品・医療機器説明会							
09:00-17:00	手術							
	病棟業務							
16:00-18:00	小児循環・心外合同カンファレンス							
17:30-18:30	心エコーカンファレンス(心外・循内・生理検査室)							
17:30-18:00	TAVIカンファレンス							
18:00-19:00	血管合同カンファレンス(心外・循内)							
17:00-24:00	ER勤務			当	直	表		
00:00-08:30	ER勤務			当	直	表		

ICUラウンド:心臓血管外科・麻酔科・ICU看護師・薬剤師

TAVIカンファレンス:心臓血管外科・循環器内科・麻酔科・手術室看護師・生理検査室・病棟

研修の週間計画(小児外科)

		月	火	水	木	金	土	日
08:30-17:00	手術							
	病棟業務							
	外来業務							
11:00-12:30	検査							
13:30-15:00	検査							
15:00-16:00	回診							
17:00-19:00	カンファレンス(術前・術後・M&M)							
18:00-19:00	回診							
19:00-20:00	抄読会・説明会(医薬品・医療機器)							
17:00-	周産期カンファレンス				第2			
18:00-	画像診断カンファレンス			最終				
17:00-24:00	ER勤務			当	直	表		
00:00-08:30	ER勤務			当	直	表		

周産期カンファレンス:小児外科・産科・新生児科
画像診断カンファレンス:小児外科・放射線科